



センター長あいさつ(藤敷庸一)

教育・福祉において、誰もが各機関・団体・個人の「連携が必要だ、大切だ」と理解していただきます。しかし、いざ連携していかうとする、これがなかなかうまくできないようです。

そこで、白浜レスキューネットワークとして、自殺防止の現場で関係諸機関とネットワークを構築してきた経験から、私が考える連携時の大切なポイントをあげてみます。

- ① 情報共有が不可欠である
- ② 協働(一緒に働く)してお互いを知る
- ③ 時間の制限の中で計画を立てる
- ④ 最終責任の所在を明確にする

中でも情報共有が基本中の基本です。各機関・団体・個人が、バラバラに、各自が直接把握している情報だけを頼りに動いても、効果は積みあがりません。関係機関がチームとして情報の共有が密になるほど、厚みのある効果的な支援につながっていくのです。

そのうえで、一緒に働くお互いを知る機会が増え、信頼関係が高まります。あわせて子どもが大人になるまでの、その子なりの時間の流れ方を考えます。その見通しの中で、自分が関わるのは、この子の年齢のいつからいつまでかを明確にして、取り組むべき支援を考えます。それを協働するチームで互いに把握します。そうすれば、最終的にどこが責任をもって関わるか、どこが主になるのかが自ずと定まります。この一連の流れによって、効果的な行動連携が機能し始めると思います。まずは情報共有から始めてみませんか。

白浜レスキューネットワークを紹介します



お弁当と惣菜の店「まちなかキッチン」

「くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ」は、特定非営利活動法人「白浜レスキューネットワーク」の活動の一つです。今月号では、法人の活動全体の概要についてご紹介いたします。

白浜レスキューネットワークでは、田辺・西牟婁地方や周辺地域における、乳幼児からお年寄りまであらゆる世代で支援を求めている人々や家庭に対して、人命救済・生活自立支援・児童家庭支援・ボランティア参加に関する事業を行なっています。

目的は、支援者のネットワーク化を目指し、隣人と関わり、受け入れ支え合い、愛し合う大切さを人々が分かち合っ、人類共同体の理念をもって社会に寄与することです。

活動の原点は、1979年に江見太郎牧師によって始められた「白浜いのちの電話」にあり、1999年にその働きを引き継ぎ「白浜レスキューネットワーク」を立ち上げました。

人命救済

人生に行き詰った人に、まずは手をさしのべたい。三段壁に「いのちの電話」を設置し、24時間対応しています。

また地元警察やボランティアと協力し、周辺パトロールを行い、行政や病院等の関係機関と連携して保護活動を展開しています。

生活自立支援

再出発をはかる人たちへ社会復帰のサポートを行っています。滞在者はゆつくり休養をとって心身が落ち着いたら共同生活をしながら就職活動を行い、最終的な自立を目指します。農作業やお弁当と惣菜の店「まちなかキッチン」で

いのち・生活・子ども・家庭への支援を続けています



特定非営利活動法人

白浜レスキューネットワーク

〒649-2211

和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL/FAX 0739-43-8981



働きながら、地域の活動に参加しながら、社会復帰を目指す人もいます。

児童家庭支援

このこの活動はその名前の通り、児童家庭支援にあたります。本部を置く白浜、パプテストキリスト教会の会堂では、子どもたちの学童保育事業、放課後クラブ「コペル君」を展開しています。家庭支援の一環としては、いくつかの店舗から食材の提供を受けてのフードバンクや(次頁に続く)



通信

のこのこ

くまのっ子 児童家庭支援センター



令和6年6月号
(第3号) (通算13号)

運営者
特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク



(前頁から続く) 配食支援を実施しています。

—SRN EDUCATION—

「自殺を選ばない世代をつくる」これが最も力を入れているところで、民間団体ならではの地域に根ざした教育活動を「SRN(白浜レスキューネットワーク) EDUCATION」と名付けて展開しています。

前述の「コペル君」では、さまざまな年齢の仲間や、たくさん大人たちに出会い、遊んだり、学んだりする中で子どもたちが生きていく力を身につけることを目指しています。

夏休みには、「コペルくんサマースペシャル」として昼食提供付きで児童を終日受け入れれます。夏休み中20日、延べ300人を想定します。その延長に「白浜SEEKキャンプ」と銘打つ宿泊キャンプも実施します。

また年間を通して英会話教室も運営しています。

このような活動の積み重ねの中で、数年前から島根県にある明誠高校の通信課程和歌山白浜SHIPを運営しています。

以上、白浜レスキューネットワークの活動の概要を紹介させていただきました。



改めてねむりについて考えてみます

「ねむり(睡眠)は大切!」「早寝早起き朝ごはん」というお話は聞いたことがあると思います。子どもさんにとっての睡眠がどのように大切なのかを少し考えてみたいと思います。

ねむり(睡眠)は体を休めるというだけのものではなく、子どもの成長において、何ものにも代えがたい大切な役割を担っています。「寝る子は育つ!」と言われるますが、いったい何が育つのでしょうか。

○脳が育つ

夜眠っている間に、その日体験したこと感じたことなどの情報処理をしながら神経回路が伸び、脳が発達していきます。5歳までの脳は特に著しい発達を遂げ、その後12歳頃まで脳の発達は続いていきます。夜の睡眠時間の確保が脳を育てます。

○心が育つ

睡眠が十分確保されると情緒が安定し、集中力も向上します。気持ちが悪く、ちょっとしたことで怒ったり、かんしゃくを起こしたり、注意力が散漫だったり、という子どもさんの中には、睡眠が足りていないことが影響している場合があります。

○体が育つ

骨や筋肉、様々な器官の成長を促す成長ホルモンは、深い睡眠時にたくさん分泌されます。

成長ホルモンがきちんと分泌されないと成長に影響が出るだけでなく、将来、肥満や生活習慣病、うつ病などの病気の原因にもなります。

子どもの睡眠の推奨時間(昼寝を含む)

(米国国立睡眠財団による推奨睡眠時間)

0~3カ月	14~17時間
4~11カ月	12~15時間
1~2歳	11~14時間
3~5歳	10~13時間
6~13歳	9~11時間
14~17歳	8~10時間



しっかりと睡眠をとるために

・朝の日の光を浴びよう

・朝ごはんを食べよう

・体を動かしたり勉強したり、昼間はしっかりと活動しよう

・夜は暗くして早く寝よう

まず一つ、できることから始めてみませんか。



知ろう、考えよう

子どもの福祉その⑧「こども家庭センター」①



「こども家庭センター」

年度末始めに紙面の都合で休載していた「シリーズ;知ろう、考えよう子どもの福祉」を今月号から再開します。このシリーズではこれまで、「福祉って何?」「人権って何?」「子どもの権利条約って何?」「こども基本法」と回を重ねてきました。

今回からは、「こども家庭センター」について、何回かに分けて学びにおつきあいください。

資料は、2024年4月1日に国が公表した「こども家庭センターガイドライン」を参考にしています。

1. こども家庭センターの創設の背景・目的

「こども家庭センター」は従来の「子育て世代包括支援センター」と「市区町村子ども家庭総合支援拠点」が有してきた機能を引き続き活かしながらも、

一体的な組織として子育てや家庭に対する相談支援を実施することになるそうです。

そうすることで「母子保健」と「児童福祉」の両機能の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、ポピュレーションアプローチ(集団全体を対象として健康増進や疾病予防に関する働きかけを行い、集団全体の健康リスクを減らす方法)とハイリスクアプローチ(高リスクの個人を対象に行動変容を促す方法)を両輪として、切れ目なく、漏れなく対応することを目的としています。

また、家庭支援事業をはじめとする地域資源を有機的に組み合わせた具体的な支援を届けていくための市区町村の中核的機能を担っていくことが期待されているものであるそうです。(続く)。



まずはお電話・LINE・メールでご相談ください

必要に応じてお越しただり、お問い合わせお話しすることもあります

ささいなことでもお電話ください

☎ 0739-45-8818

のこのこスタッフが電話にできます。留守番電話の場合には、お名前だけ預けていただければ、折り返しご連絡しますので電話番号を通知して電話してください。
(9:00~17:45)

✉ nokonokojikasen@gmail.com

文章を上手く書けなくても大丈夫です。書ける範囲で書いていただければお返事します。



のこのこ広場とのこのこ食堂のご案内がここから4ページあります



梅雨入りの季節。ついつい気分が滅入りがちないイメージがありますが、梅雨ならではの楽しみに目を向けてみるのもいいものです。アジサイの色の美しさ、梅雨ならではの生き物たちとその動き、傘に落ちる雨の音、雨上がりの虹・・・子どもの五感や好奇心を心地よく刺激してくれる自然現象があふれています。ぜひ梅雨期を楽しんでみてくださいね！



6月の予定

親子ひろば

6月10日(月) } 自由遊び・紙芝居など
24日(月) } 9:30~11:00

のこのこ食堂 食堂のみです。広場はありません。

6月17日(月) 11:00~12:00
(親子100円) ※大人一人増えるにつき+100円

親子リトミック

6月19日(水) 10:00~10:40頃
(定員) 8組

申し込みが必要で右のQRコードから動きやすい服装でお越しください



開催場所について



日	6/10(月)・24(月)	6/19(水)	6/17(月)
場	クオリティーソフト(株)東館2F		白浜バプテストキリスト教会
所	白浜町中 1700-2クオリティーソフト(株)東館(TEL 0739-45-8818)		白浜町 3137-9 (TEL 0739-43-8981)
内容	親子ひろば	親子リトミック	のこのこ食堂(ひろばはありません)

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら、子育ての悩み等お話もできます。教会での開催時(のこのこ食堂)は、はまゆう病院駐車場をご利用ください。
授乳スペース、おむつ替えスペースあります

17日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用のみ予約が必要です。利用される方は6月17日 17時45分までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。
※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。

のこのこ広場

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL 0739-45-8818
FAX 0739-45-8819

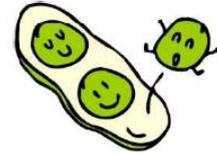




ママと子ども(赤ちゃん)のほっとスペース 

のこのこ

子ども(赤ちゃん)食堂



※要予約

開催日(毎月第3月曜日)

利用料:大人の方のみ 100円

令和6年6月17日(月)11時~12時ごろ

※食堂のみの開催になります。広場はありません。

開催場所:白浜バプテストキリスト教会

白浜町 3137-9 **※駐車場は白浜はまゆう病院様の駐車場になります。**

子育ての悩みや離乳食の悩み相談もできます。

みんなで楽しくおしゃべりしながらリフレッシュできる時間を過ごしませんか。



ご予約はこちらから



JIKASENNOKONOKO

のこのこ Instagram

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

〒和歌山県西牟婁郡白浜町中1700-2クオリティソフト(株)東館2階

TEL/FAX 0739-45-8818

E-mail:nokonokojikasen@gmail.com





のこのこ広場のご案内

親子で遊びに来ませんか～



外に出ると、キラキラとまぶしい日差しが降りそそぎ、夏の装いになってきました。子どもたちは外で活発に遊びたい時期ではありますが、熱中症予防に帽子や日焼け止めを使用し、日差しの中での長時間の活動は避けたいですね。こまめな水分補給も忘れずに！！



7月の予定



<p>親子ひろば</p> <p>7月 8日(月) } 自由遊び・紙芝居など 22日(月) } 9:30～11:00</p>	<p>親子リトミック</p> <p>7月17日(水) 10:00～10:40頃 (定員) 8組 申し込みが必要です(右のQRコードから) 動きやすい服装でお越しください</p> 
<p>のこのこ食堂</p> <p>7月29日(月) 11:00～12:00 (親子100円) ※大人一人増えるにつき+100円</p> <p><small>食堂のみです。広場はありません</small></p>	



開催場所について



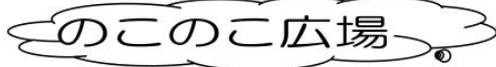
日	7/8(月)・22(月)	7/17(水)	7/29(月)
場	クオリティーソフト(株)東館2F		白浜バプテストキリスト教会
所	白浜町中 1700-2 クオリティーソフト(株)東館(Tel 0739-45-8818)		白浜町 3137-9 (Tel 0739-43-8981)
内容	親子ひろば	親子リトミック	のこのこ食堂 (ひろばはありません)

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら、子育ての悩み等お話もできます。教会での開催時(のこのこ食堂)は、はまゆう病院駐車場をご利用ください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

29日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用のみ予約が必要です。利用される方は7月26日 17時00分までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。

※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ
連絡先 TEL・FAX 0739-45-8818



のこのこインスタ



のこのこHP



G mail



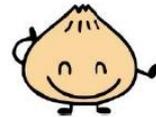
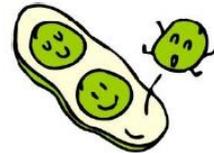


ママと子ども(赤ちゃん)のほっとスペース 

のこのこ

子ども(赤ちゃん)食堂

利用料:大人の方のみ 100円



※要予約

※今回のみ第4月曜日開催となります。

開催日 令和6年7月29日(火)11時~12時ごろ

※食堂のみの開催になります。広場はありません。

開催場所:白浜バプテストキリスト教会

白浜町 3137-9 ※駐車場は白浜はまゆう病院様の駐車場になります。

子育ての悩みや離乳食の悩み相談もできます。

みんなで楽しくおしゃべりしながらリフレッシュできる時間を過ごしませんか。

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

〒和歌山県西牟婁郡白浜町中1700-2クオリティソフト(棟東館)2階

TEL/FAX 0739-45-8818

E-mail:nokonokojikasen@gmail.com



ご予約はこちらから



JIKASENNOKONOKO

のこのこ Instagram